

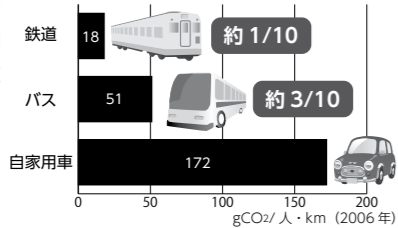
公共交通を走らせ続けるために

4月からの新生活を公共交通で

一移動手段としての利便性のほかにも、ちょっと視点を変えて見ると公共交通には多くのメリットがあります。4月から新生活をスタートされる機会に、ぜひ公共交通をご利用ください。

■環境負荷を減らせます

公共交通は自家用車に比べ、1人が1km移動するために排出する二酸化炭素(CO₂)の量が低く、環境への負荷を軽減することができます。環境保全に取り組む「エコ通勤」として、公共交通の利用を奨励している事業所もあります。



■健康的な生活スタイルへ

電車・バス通勤は、自家用車での通勤に比べて約4倍のカロリーを消費すると言われており、ご自身の健康増進にも効果が期待できます。



■人との触れ合い、出会いの場

いろんな人が乗り合わせる車内では、人と人のコミュニケーションや触れ合い、出会いがあります。また高齢者や妊婦さんに席を譲るなど、公共のマナーやルールを学ぶ社会勉強の場にもなります。



▲甲賀病院のバスターミナル



▲学生の利用が多い信楽高原鉄道



▲コミュニティバスで毎日通学する小学生

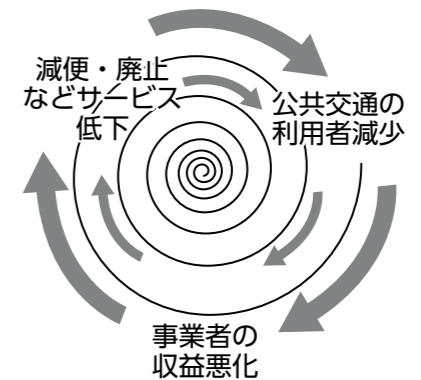
市内には、JR草津線、信楽高原鉄道(SKR)、近江鉄道の各路線と、鉄道駅を中心とした市コミュニティバス(コミバス)や帝産湖南交通のバス路線が張り巡らされています。

これらの公共交通を維持するため、市や県は税金により運行を支え、利用促進に向けた啓発にも取り組んでいます。利用者の伸び悩みから、その経営環境は年々厳しさを増しています。

かけがえのない公共交通を走らせ続けるために、ぜひ市民の皆さんにご利用いただきたいのです。

負のスパイラル

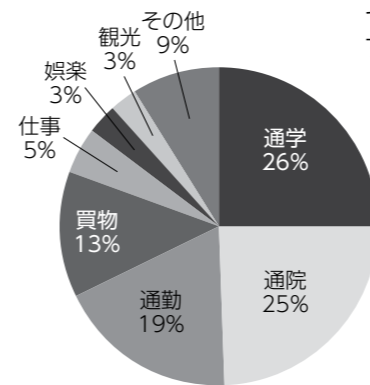
市内の公共交通の利用者数は、社会の進展や人口減少などの要因から減少傾向が続いており、利用者の減少が減便や廃止などの交通サービス低下を招き、さらなる利用者離れにつながる「負のスパイラル」という悪循環に陥っています。



▲負のスパイラル(連鎖)による悪循環

交通弱者に大きな影響が

運転免許証を持たない高齢者や障がい者、学生など、「交通弱者」と呼ばれる人たちは、日常生活での移動手段を公共交通に頼らざるをえません。交通サービスが低下すると、交通弱者が大きな影響を被ることになります。



▲コミバスの利用目的は、通学と通院が半数を占める。
出典：甲賀市地域公共交通総合連携計画書(H22)

社会全体の課題と関

現在、ご自身が公共交通を利用してなくても、ご家族や知人、ご近所まで見渡すと、身の回りで電車やバスを必要としている人はたくさんおられるはずです。

もし、そのバスや電車が減便や廃止になったらどうでしょうか。代わりに自家用車での送迎が必要となれば、利用者だけでなく周囲の人にもその影響が及びます。

公共交通の存続は、利用者だけでなく、社会全体で考えていかなければならない課題なのです。

月1回でも、意識的な利用を

例えば9万3千人の甲賀市民が、月に1回ずつ公共交通を利用するだけで、年間110万人を超える数となり、「コミバス」の約60万人、SKRの約50万人を合わせた年間利用者数にも匹敵します。

一人ひとりの意識的な利用が公共交通の維持や活性化につながりますので、少しの不便や負担を伴うかもしれませんが、皆さんの積極的なご利用をお願いします。これからの公共交通を走らせ続けるために。



問い合わせ
市内の公共交通に関する問い合わせ
公共交通推進室
☎650672 / ☎634554